

2015年2月27日

東京電力株式会社
代表執行役社長 廣瀬直己様

脱原発福島県民会議

共同代表 角田 政志

(福島県平和フォーラム代表)

共同代表 小川 右善

(社会民主党福島県連合代表)

共同代表 関 友幸

(プルサーマル反対双葉住民会議)

**東京電力・汚染雨水海洋流出への抗議と
緊急要請について**

東京電力福島第1原発2号機の原子炉建屋屋上にたまつた高濃度の汚染雨水の湾外流出問題で、貴社が流出の可能性を把握しながら、長期にわたって公表しなかつたことは極めて遺憾であり強く抗議するものである。

報道では、低減策で濃度が下がるとして、貴社の認識の甘さを指摘しているが、今回の事態に限らずに、以前から指摘されてきたことでもあり、同様の問題が繰り返し派生していることに、強い疑念と不信感を抱くものである。

被災県民は、いまだ復興最中にあり、苦渋の生活を強いられつつも、折れる心を必死に励まし前向きであることに懸命である。貴社の姿勢は、避難者の帰還や中間貯蔵施設の受け入れなど、新たな生活再建へ一歩踏み出す過渡期にあるとの認識も極めて希薄である。

については、再発防止の決意と、県民への謝罪と反省を厳しく促すとともに、下記の要請をするので、県民の疑念を払拭する誠意ある対応を行うこと。

記

- 1 汚染水雨水海洋流失問題の原因究明と抜本的対策を行うこと。
- 2 汚染水雨水海洋流失の原因説明と非公表であった経緯について述べること。
- 3 流失した放射性物質及び量を説明し、環境に与える影響を述べること。
- 4 再発防止の決意と、県民への謝罪と反省を述べること。

以上